



VOL.7 初心者必見!

セルフで給油をする際の豆知識



このコーナーではクルマに関する
為になる雑学をご紹介します。
意外と知らないことがあるかも!?

1 まずは愛車の給油口の位置を把握しておきましょう

車を新しく買い替えた際や、レンタカーを使用した際にガソリンスタンドで「あれ!? この車、給油口どっちだっけ!?!」なんて経験はありませんか? 焦ってサイドミラーで確認しようとしても給油口は確認することができません。また、車を降りて確認しようとすると後方の車に迷惑がかりそう…クラクションを鳴らされそうです。そんな時はメーターで確認しましょう。ガソリンの残量表記のマークの隣に給油口の位置を示す「▶マーク」で給油口の左右を確認することができます。



↑この場合だと◀が左向きなので左側に給油口がある。

2 静電気や火に気をつけましょう

セルフスタンドを利用する場合には、静電気や火には細心の注意を払う必要があります。セルフではないガソリンスタンドの場合、給油中に火災が起こらないよう細心の注意を払うため、店員は静電気が起きない専用の服を着用しています。しかしセルフスタンドの場合は、運転者自身が給油をするため、静電気の起きやすい服装の場合もあります。そういった理由からセルフ機に設置してある静電気除去シートに必ず触れてから給油を行う必要があります。それにより体に帯電していた静電気を除去できますので安全に給油を行うことが可能になります。セルフスタンドに慣れてくると、つい静電気除去を忘れてしまう場合もありますが、給油機が音声で案内してくれますので、聞き逃さないようにしてください。ガソリンは気化しやすく、静電気ですぐに発火することも考えられますのでマナーと安全対策として静電気除去は必ず行うようにしましょう。



↑ガソリンスタンドでの火は火災の原因になるので厳禁!!
タバコを吸いながらの給油など絶対にはいけません。
静電気からの発火を防ぐため、給油口キャップを開ける前に必ずタッチしましょう。

3 車を駐車する位置・レシートのマナー

セルフスタンドの場合、車を駐車する位置にもマナーがあります。何故なら多くの方が入れ替わりでガソリンを給油するので、正しい位置に車を駐車していないと車の入れ替えができなくなってしまいます。基本的には駐車場所が決められているので、その場所に正しく駐車してガソリンの給油を行うことがマナーです。給油後のレシートについてもマナーがあり、良く見かけるのが、セルフスタンドで給油した後レシートを放置したまま走り去ってしまう人です。これは次に給油する人のことを考えていないマナー違反となります。次の給油者がそのレシートを処分することになるので、ごみを放置したままにしているのと同じことと言えます。レシートは必ず取るか、必要ないのであれば自分で処分するか、最初からレシートを排出しないようにしましょう。セルフスタンドではレシートの放置だけではなく、会員カードやクレジットカードなどの取り忘れも多いので、取り忘れと給油キャップの閉め忘れは発進前に必ず確認しましょう。



↑レシートやカードは取り忘れがち。必ず発進前に確認しましょう。